

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和4年12月20日発行 ー 第 8 号 ー



交流給食に係る特別授業 滝川第三小・東小・江部乙小

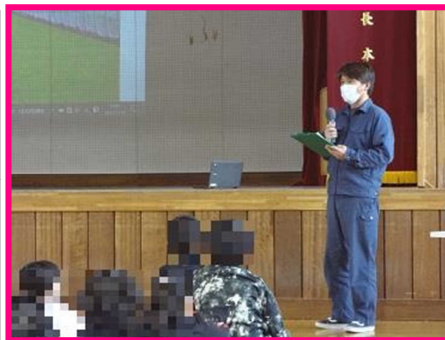
11月10日(木)、滝川第三小学校4年生を対象にごぼうについて、同日東小学校5年生を対象にお米について、11月17日(木)、江部乙小学校3年生を対象にりんごについて、それぞれ生産者の方に講師として来校していただき、「交流給食に係る特別授業」を実施いたしました。

滝川第三小学校ではごぼう生産者の山木傑様に授業を行っていただきました。授業ではごぼう生産の一連の流れについてご説明をいただきました。収穫期には1日1万本ものごぼうを収穫するという山木様のお話に、子どもたちからは大きな驚きの声が上がりました。授業の終わりには、山木様が子どもたちへ「半年かけて大切にごぼうを作っているのので、味わって食べて、健康な体作りに役立ててほしい」と伝えられ、代表児童はお礼の言葉と共に「これからは滝川産のごぼうを大切に食べます」と述べました。

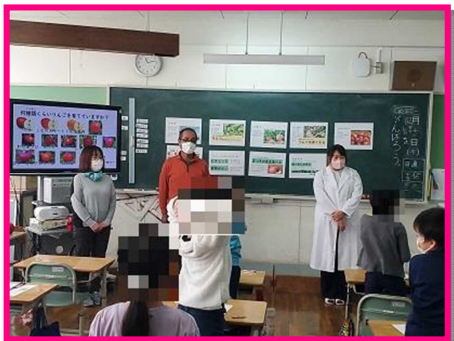


東小学校ではお米生産者の埴淵義和様に授業を行っていただきました。授業では3月に始まるビニールハウスでの苗育てから9月以降の収穫までの一連の流れをご説明いただきました。児童から「お茶碗1杯分のごはんには何粒お米がありますか？」という質問があり、埴淵様が「大体3000～3500粒くらいです」とお答えになると、一斉に驚きの声が上がりました。

授業中、児童たちは埴淵様のお話にしっかりと耳を傾けながら、熱心にメモを取っており、中にはプリントの余白や裏面まで隙間なく書き込む子もいました。授業後の感想では多くの児童が「農家の方に感謝してお米を大切に食べたい」「これからは給食のお米を残さず食べたい」と述べていました。



江部乙小学校ではりんご生産者の伊藤公一様に授業を行っていただきました。授業では、りんごの栄養素やおすすめの食べ方のほか、2月の剪定から収穫にいたるまでの一連の栽培過程をご説明いただきました。江部乙地域では90年にわたって地域のブランドとしてりんごが栽培されており、伊藤様は「食べてくれる人が感動するほど美味しいりんごを作りたい」と生産者としての思いを話されました。児童達は普段何気なく食べているりんごに込められた生産者の方の思いに気づき、授業終わりに伊藤様へ感謝の気持ちを述べました。



明苑中2・3年生

性の多様性・LGBT講演会

11月25日(金)、明苑中学校2・3年生を対象に、LGBTについて学ぶ講演会が道德の授業として実施されました。講師はレインボーファミリー札幌の武藤義弘様です。

講演会では、LGBTをはじめ性的マイノリティとされる人々について、それぞれの性的指向や性自認、性表現にはどのようなものがあるのか説明がありました。また、自身がゲイである武藤様が学生時代に受けたいじめや差別の実体験について話され、「性的マイノリティは13人に1人、左利きの人やAB型の人と同じくらいの割合でいるとされています。あなたたちの周りにも必ずLGBT当事者がいると思ってください。中学生は特に自分が性的マイノリティだと自覚する時期で、どの子も親や先生、周りの友達になかなか相談することができず追い詰められています。男のくせに、女のくせに、といったからかいは今以降やめてほしいです。」と生徒たちに伝えられました。生徒たちは終始真剣なまなざしで武藤様の話に耳を傾け、講演終了後はタブレット端末を用いて各自感想をまとめました。



《連絡先》 滝川市教育委員会(滝川市役所 7 階) 教育総務課
 ☎28-8042 ✉chiiki_coordinator@city.takikawa.lg.jp
 《担当》 伊藤 崇・西田雄三・山下桜子

